

研究室名	加藤彰研究室 学会発表
------	--------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	一般社団法人日本機械学会関東支部第61回学生員卒業研究発表講演会
演題名	3次元CFDを用いたディーゼルエンジンにおけるPCCI燃焼が排出ガスに及ぼす影響
発表者	○大藪浩二※, 岩井宏樹※, 加藤彰
内容	<p>現在地球温暖化の影響により気候の平均の温度は上昇傾向にあり1900年時比で既に1℃上昇している。2021年度に開かれたCOP26においては、これ以上の地球温暖化は異常気象などの地球環境に重大な悪影響を及ぼすと警告し、1900年度比1.5℃以下に抑制するため2050年度までにCO₂の排出を正味ゼロ（カーボンニュートラル）にする目標が宣言された。</p> <p>そのためカーボンニュートラルに分類される燃料を用いた内燃機関の重要性が高まっている。しかし内燃機関がカーボンニュートラルに分類される燃料を用いた場合においてもCO, THC, Soot, NOxといった有害排出ガスを発生させることには変わりないため、今後も排出ガス規制を強化する必要がある。</p> <p>本研究ではSootおよびNOxの発生を抑制できるとされるPCCI（予混合圧縮着火）燃焼を3次元CFD上で早期単段噴射とEGRを導入することで再現しNOxおよびSoot低減手法を提示することを目的とする。</p>
関連画像	